※令和４年度以降入学生用

学校番号	207

令和８年度 公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	詳述　公共　新訂版（実教出版）						
副教材等	詳述公共マイノート（実教出版） 2026　ズームアップ公共資料　新訂版（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

皆さんは、これからどのような社会を生きていきたいですか？皆さんは、これから生きていく世界がどうあってほしいと願っていますか？公共は、この２つのテーマを追求する学習です。そのために、以下に挙げる３つの取り組みを、授業を通して実践していきましょう。

① 他者理解…身近にいる人との関係だけでなく、政治・経済・国際関係など、身の周りにある世の中について理解する。
② 自己理解…自分はいったい何者なのか。どのように生きていきたいかを考え、自己を見つめる。
③ 課題解決…現代を取り巻く様々な課題を自ら設定し、自分なりに分析し、今後の未来に生かす指針とする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

政治、経済、国際関係など、時代やテーマに即して近現代の特徴及び法や経済の基本的理論について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

現代社会の諸課題について自分の考えを発表するために、資料を調べるスキルを身につけるとともに、その資料から有益な情報を発見し、まとめる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

青年期の課題や先哲の教えを学ぶことを通して、自己を見つめ自分が今後どのように生きていけばよいのかを主体的に考える。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国の平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1部 公共の扉	1 社会を作る私たち 青年期と自己形成の課題 職業生活と社会参加 現代社会と現代の生き方 2 人間としてよく生きる 宗教の教え 人間の尊重 主体性の確立 公正な社会 3 社会とは何か 自由・権利と責任・義務 4 民主国家における基本原理 人権保障の発展と民主政治の成立 国民主権と民主政治の発展	・人間は、個人として相互に尊重される存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高めあうことのできる存在であることについて理解している。(a) ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間を作る存在であることについて考察し、表現している。(b) ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。(c)	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント 振り返り 観察
	2部 よりよ	1 日本国憲法の基本的性格 日本国憲法の成立 平和主義とわが国の安全 基本的人権の保障	・法や規範、司法参加の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、憲法の下、適正な手続きにのっとり、法や規範に基づい	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント

※令和４年度以降入学生用

2学期	い社会の形成に参加する私たち	人権の広がり 2 日本の政治機構と政治参加 政治機構と国民生活 人権保障と裁判所 地方自治 選挙と政党 政治参加と世論	て各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。(a) ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。(b) ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義、安全保障、司法や政治参加の意義などに関わる諸課題を主体的に解決しようとしている。(c)			振り返り 観察
		3 現代の経済社会 経済社会の形成と変容 市場のしくみ 現代の企業 経済成長と景気変動 金融機関の動き 政府の役割と財政・租税 4 経済活動のあり方と国民福祉 日本経済の歩みと近年の課題 中小企業と農業 公害防止と環境保全 消費者問題 労働問題と雇用 社会保障	・雇用、財政、社会保障、市場機能や金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を通して資源の効率的な配分が図られることや政府の役割について理解している。(a) ・国家主権、領土（領海、領空を含む。安全保障などの国際社会における我が国の役割について理解している。(a) ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結びつき、経済活動が世界	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント 振り返り 観察

※令和４年度以降入学生用

3学期		5 国際政治の動向と課題 国際社会における政治と法 国家安全保障と国際連合 冷戦終結後の国際政治 軍備競争と軍備縮小 異なる人種･民族との共存 国際平和と日本 6 国際経済の動向と課題 国際経済のしくみ 国際経済体制の変化 経済のグローバル化と金融危機 地域経済統合と新興国 ODA と経済協力	的な規模で自由に行われていることについて理解している。(a) ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。(b) ・多面的、多角的な考察や深い理解を通して、市場や金融、雇用や税制及び国際社会に関わる諸課題を主体的に解決しようとしている。(c)	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント 振り返りシート 観察
	3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な国家･社会、国際社会づくりのためには何が必要だろうか。社会的な見方や考え方を総合的に働かせて現実社会の諸課題を探究する。	・1 部で身につけた選択・判断の手がかりとなる考え方や基本的原理などを活用するとともに、1 部及び 2 部で習得した知識や技能を活用している。(a) ・よりよい国家・社会の形成へ主体的に参画し、ともに生きるという観点から課題を見出して考察しながら、自分の考えを、論拠を基に説明している。(b) ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見出し、諸課題を主体的に解決しようとしている。(c)	レポート	･レポート	提出ノート/プリント 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度